

北島町民アンケート 結果報告

アンケート実施日：平成30年5月



1 調査概要

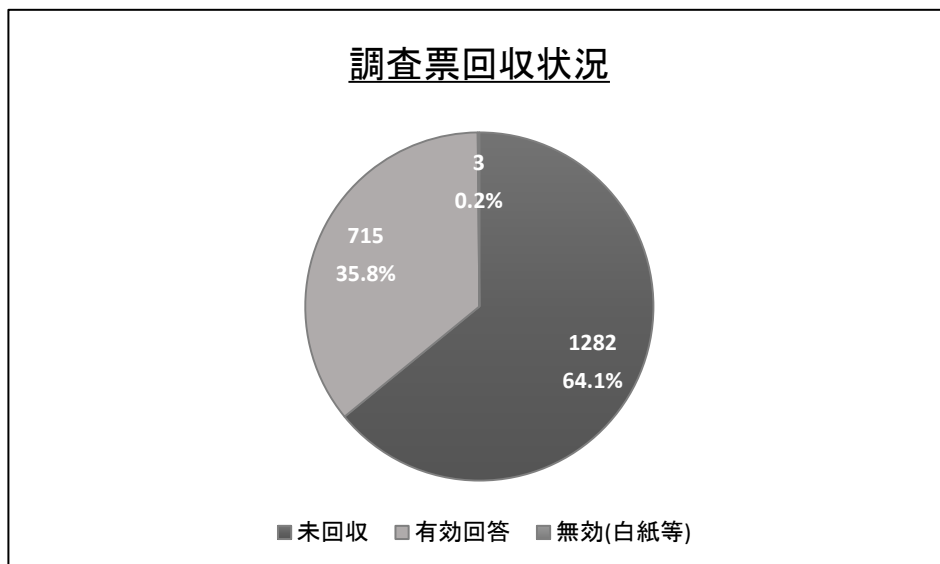
(1) 調査の目的

北島町議会では、平成 20 年に四国初の「議会基本条例」を制定するなど、運営の向上にまい進してきました。しかしながら、平成 27 年 5 月の本町議会議員選挙や同 30 年 1 月の補欠選挙が無投票になるなど、議会に対する関心の薄れが懸念されております。

一方、議会としても「高齢化」「なり手不足」「若者・女性が立候補しやすい環境」などの課題をかかえています。そこで、町民の議会・議員に対する調査を行い、町民の意見や声を把握するとともに、今後の議会のあり方や課題等を探り、まちづくりのために生かす目的として、町民へのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の方法

- | | |
|----------|--|
| ①調査対象者 | 住民基本台帳より無作為に抽出した北島町民 |
| ②調査票配布数 | 2 0 0 0 件 |
| ③調査票配布日 | 平成 3 0 (2 0 1 8) 年 5 月 1 0 日 (木) |
| ④調査票回収日 | 平成 3 0 (2 0 1 8) 年 5 月 1 5 日 (火) ～ 2 5 日 (金) |
| ⑤調査票回収状況 | |



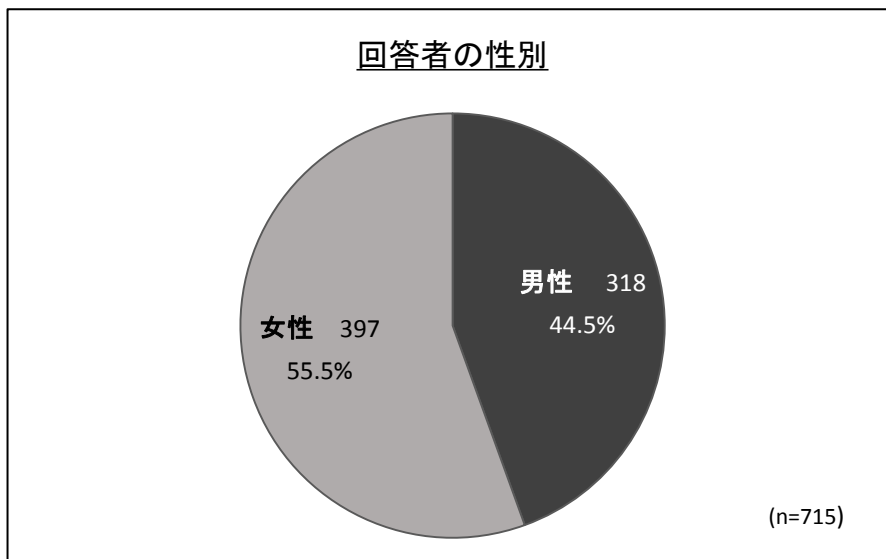
回収票 718 のうち、3 票を白紙および基本属性の未記載ため無効扱いとしたため、有効回答票は 715 (35.8%) となりました。

(3) 集計に際しての留意事項

- ◎基本属性(性別・年代)が未記入なものは、無効としました。
- ◎「限定設問」のうち質問 11 に回答があり、前問(質問 10)にチェックがない場合、「ハ、伝えていない」に回答したものとみなし、集計をしました。
- ◎1つを選択の質問で複数選択の場合、初出の選択(記号の若いもの)を採用しました。
- ◎質問 13 において、自由記述にのみの回答の場合、記述内容がイ～トのいずれの内容にも該当しないものは、「チ、その他」と判断し集計をしました。
- ◎欄外等、質問 16 以外のスペースへの記述も、自由記述として反映しました。
- ◎割合は選択肢ごとに小数点第 2 位を四捨五入しているため、その割合の合計が 100%にならないことがあります。
- ◎「年齢別」の横棒グラフ内の数値は、その項目に対する回答数を表しています。
- ◎単純集計(速報値)から、更新されたデータとなります。

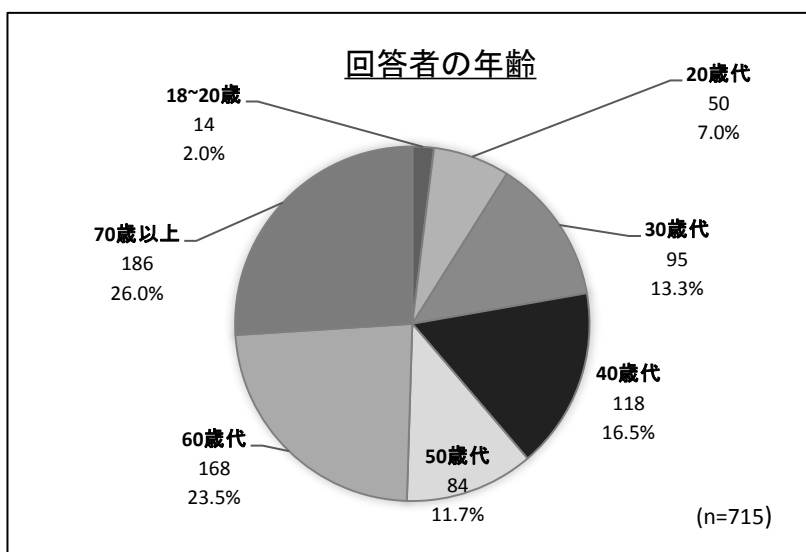
2 調査結果・基本属性

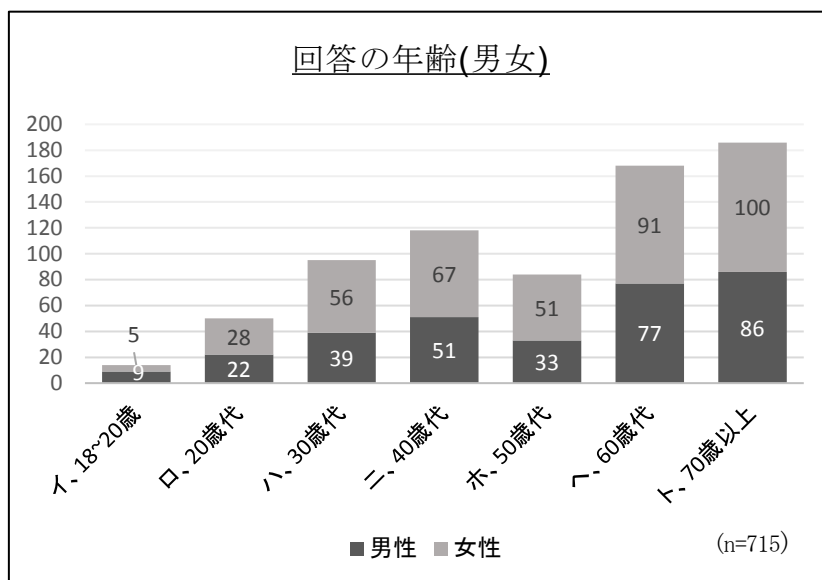
質問 1. 性別をお尋ねいたします。



男性 318 名 (44.5%)、女性 397 名 (55.5%) で女性の回答比率が高い。北島町の平成 30 年 6 月末の人口による男女比は、男性 48.7% : 女性 51.3%。女性の人口比が高いため、アンケートもそれを反映した結果となりました。

質問 2. 年齢をお尋ねいたします。





●年齢別男女データ

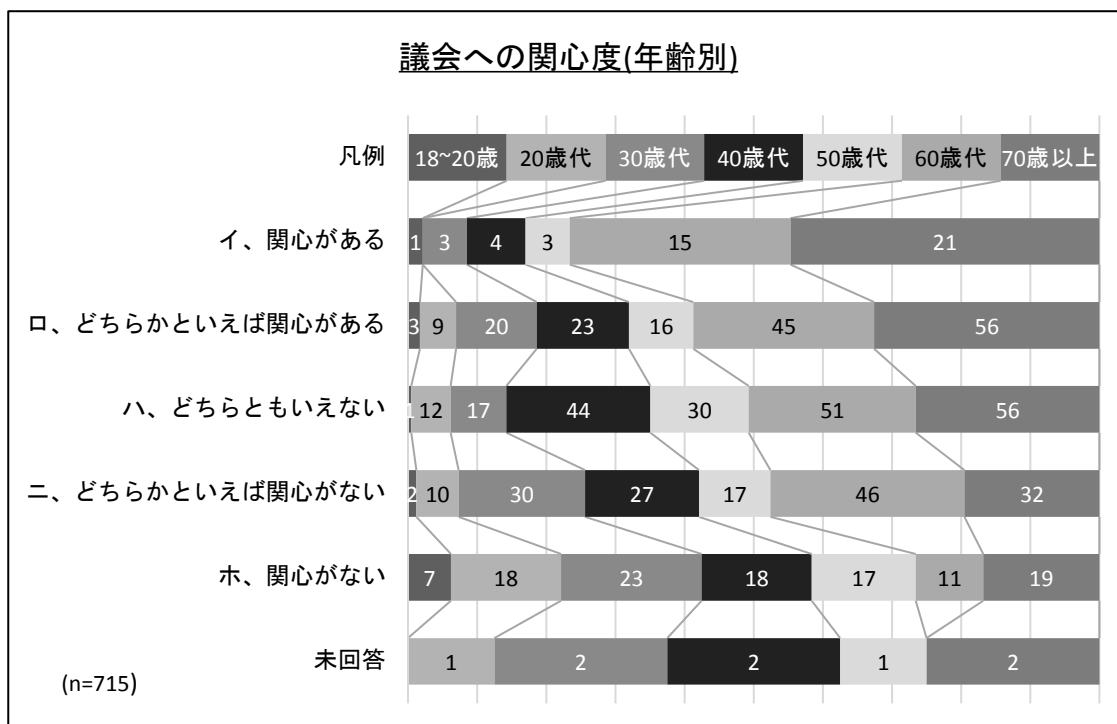
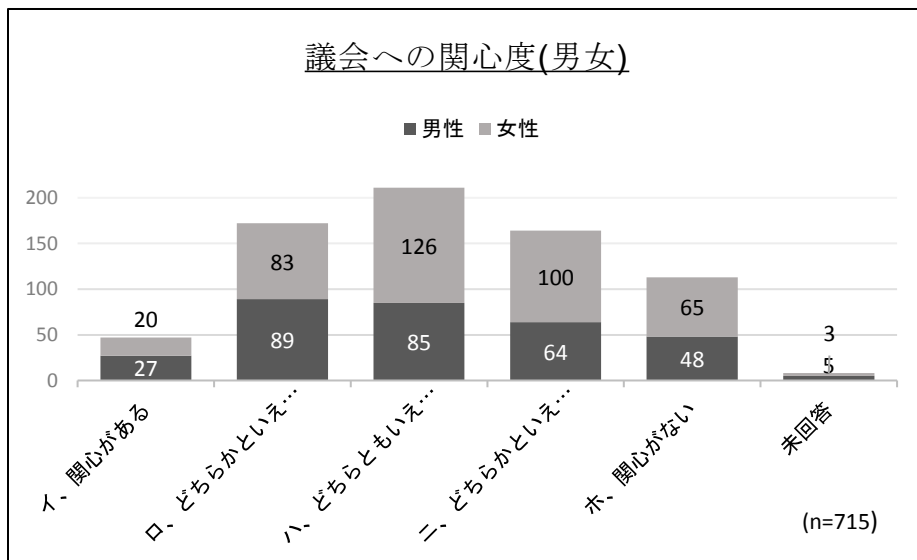
n=715

年齢	男性		女性		総計	
イ、18~20 歳	9	1.3%	5	0.7%	14	2.0%
ロ、20 歳代	22	3.1%	28	3.9%	50	7.0%
ハ、30 歳代	39	5.5%	56	7.8%	95	13.3%
ニ、40 歳代	51	7.1%	67	9.4%	118	16.5%
ホ、50 歳代	33	4.6%	51	7.1%	84	11.7%
ヘ、60 歳代	77	10.8%	91	12.7%	168	23.5%
ト、70 歳以上	86	12.0%	100	14.0%	186	26.0%
計	317	44.3%	398	55.7%	715	100.0%

参考までに、地域経済分析システム RESAS の人口構成データ(2015 年)によると、北島町の 15 歳以上の人口は 1 万 8,865 人。うち 15 歳未満を含まない人口構成比では、20 歳代が 10.4%、30 歳代が 16.9%、40 歳代が 17.6%、50 歳代が 13.5%、60 歳代が 17.0%、70 歳以上が 19.3%である。REASAS の人口構成データは 5 歳区切りのため、必ずしもイコール条件での比較とはならない(15~17 歳を含む)が、人口構成の割合でいえば、町民アンケートへの回答は、60 歳代、70 歳代が高い。

3 調査結果・北島町議会について

質問3. あなたは、議会に関心がありますか。



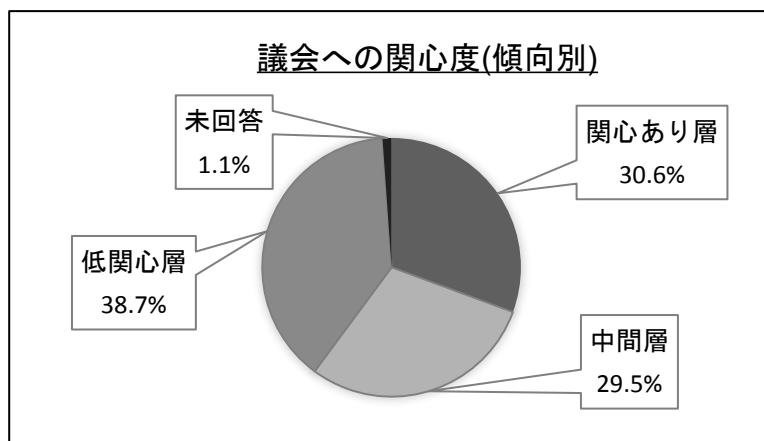
議会への関心の度合いは、60歳代と70歳以上が高く、それとは逆に50歳代以下では、関心が薄い傾向にある。この年齢層は、労働力人口の中核である。

●年齢別男女データ

n=715

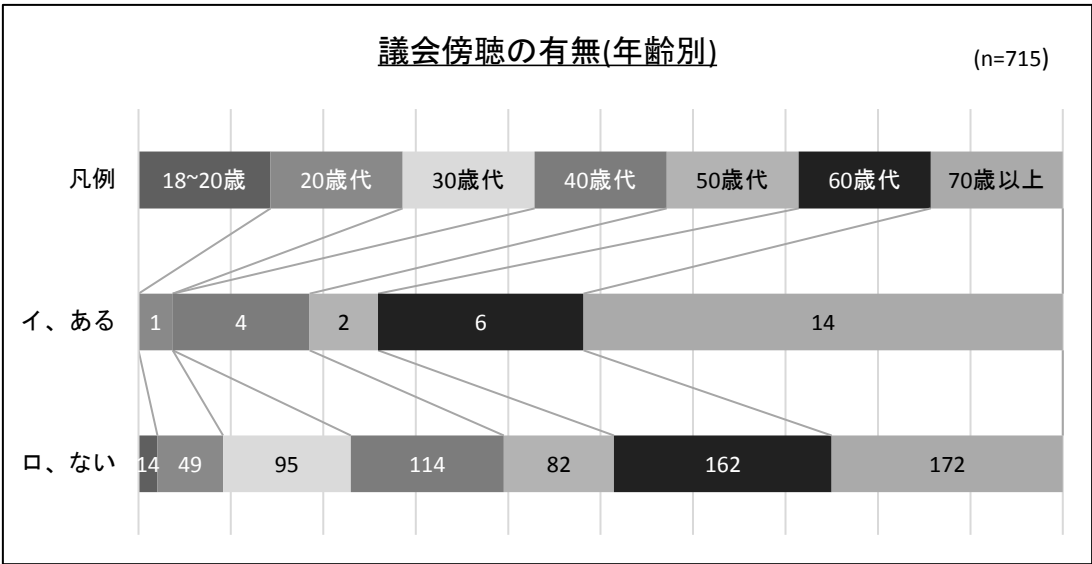
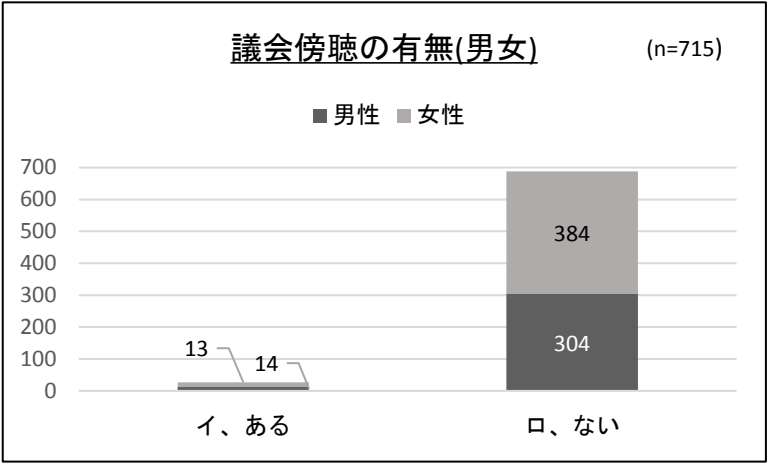
年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、関心がある	1				2	1		4
ロ、どちらかといえば関心がある		3	3	6	9	11	11	12
ハ、どちらともいえない	1		9	3	6	11	19	25
ニ、どちらかといえば関心がない	2		3	7	13	17	10	17
ホ、関心がない	5	2	6	12	8	15	10	8
未回答			1		1	1	1	1
計	9	5	22	28	39	56	51	67

年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
イ、関心がある	2	1	7	8	15	6	47(6.6)
ロ、どちらかといえば関心がある	9	7	24	21	33	23	172(24.1)
ハ、どちらともいえない	10	20	23	28	17	39	211(29.5)
ニ、どちらかといえば関心がない	6	11	18	28	12	20	164(22.9)
ホ、関心がない	6	11	5	6	8	11	113(15.8)
未回答	1				1	1	8(1.1)
計	34	50	77	91	86	100	715(100.0)



関心の度合いを3つの傾向に大別すると、「関心あり層」(イ、ロと回答)が30.6%、「低関心層」(ニ、ホと回答)が38.7%、どちらともいえないと答えた「中間層」が29.5%。およそ4割近くを占める「低関心層」、3割近い「中間層」へのアプローチをどうするかが、今後の課題といえる。

質問 4. あなたは、議会傍聴したことはありますか。



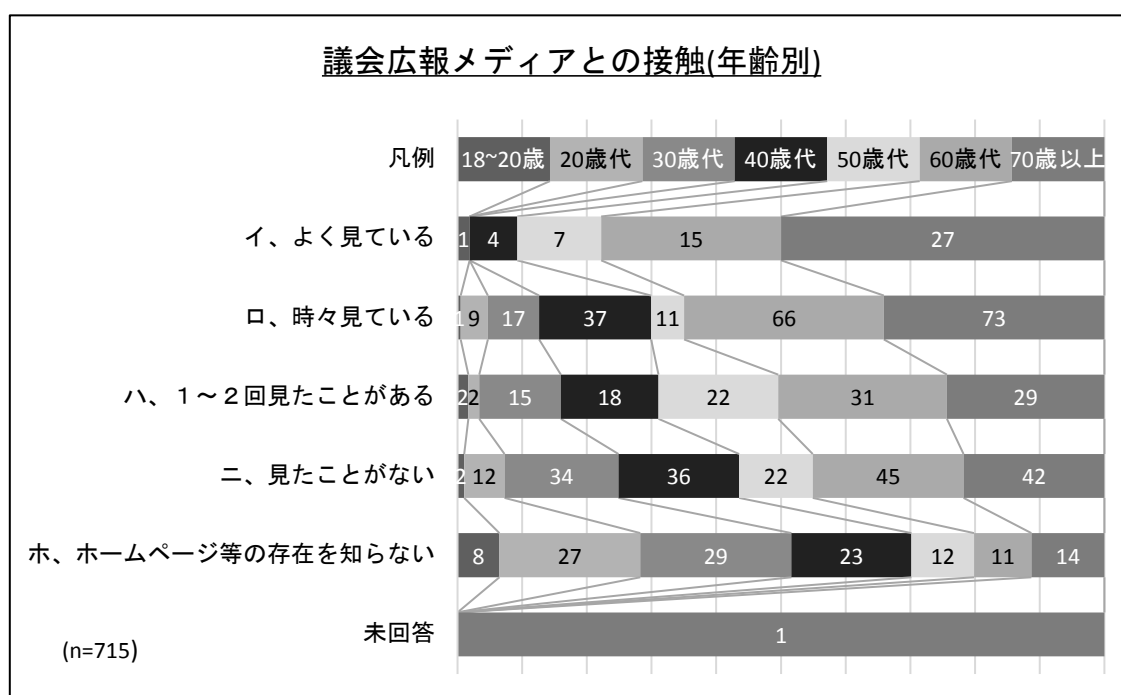
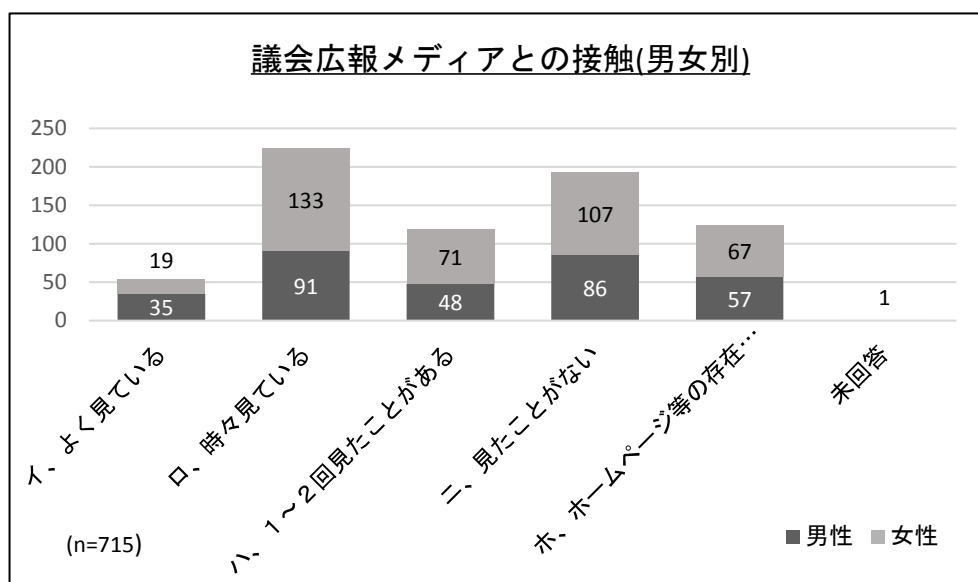
96%強が「傍聴経験がない」と回答をしている。「傍聴経験あり」は、男女ともほぼ同数。

●年齢別男女データ

n=715

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、ある			1				2	2
ロ、ない	9	5	21	28	39	56	49	65
計	9	5	22	28	39	56	51	67
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、ある	1	1	1	5	9	5	27 (3. 8)	
ロ、ない	33	49	76	86	77	95	688 (96. 2)	
計	34	50	77	91	86	100	715 (100. 0)	

質問5. あなたは【議会だより】【議会ホームページ】【議会動画配信】をご覧になったことがありますか。



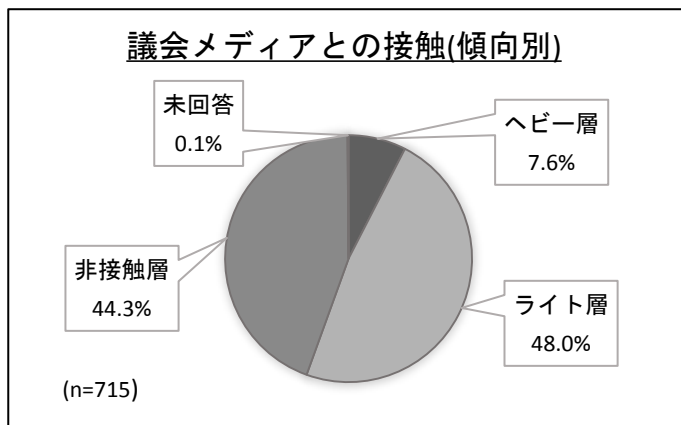
SNS や IT メディアとの接触が高いと思われる 40 歳代以下が、「議会ホームページ等の存在を知らない」と回答している。このことから今後の PR 戦略次第で、ホームページ等の存在をアピールし、認知を増やせる余地が残っていると判断できる。

●年齢別男女データ

n=715

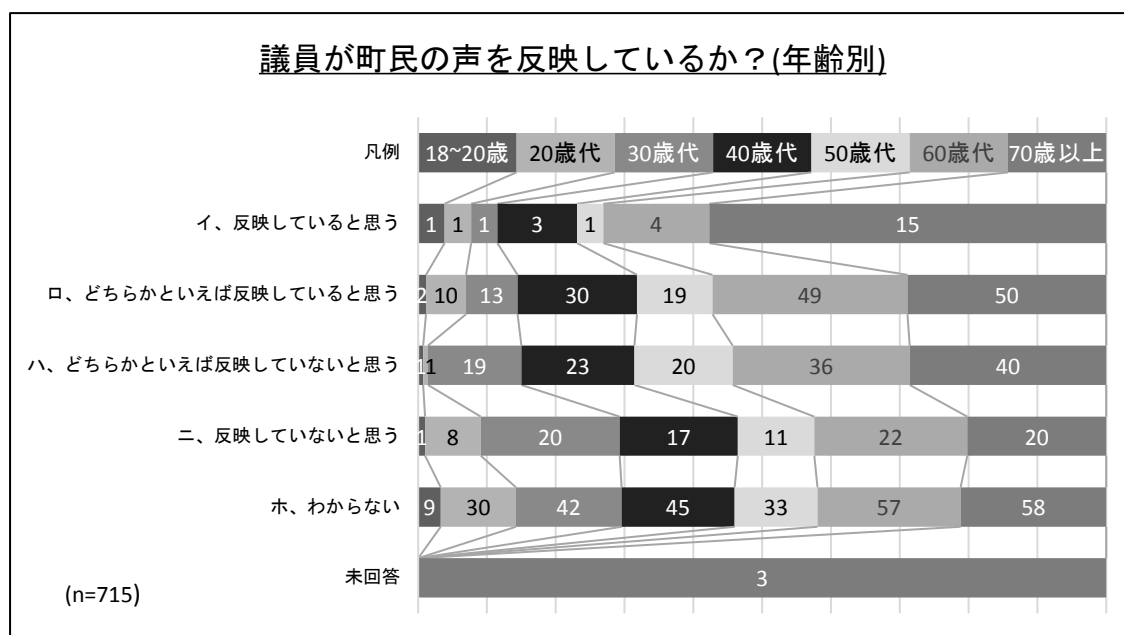
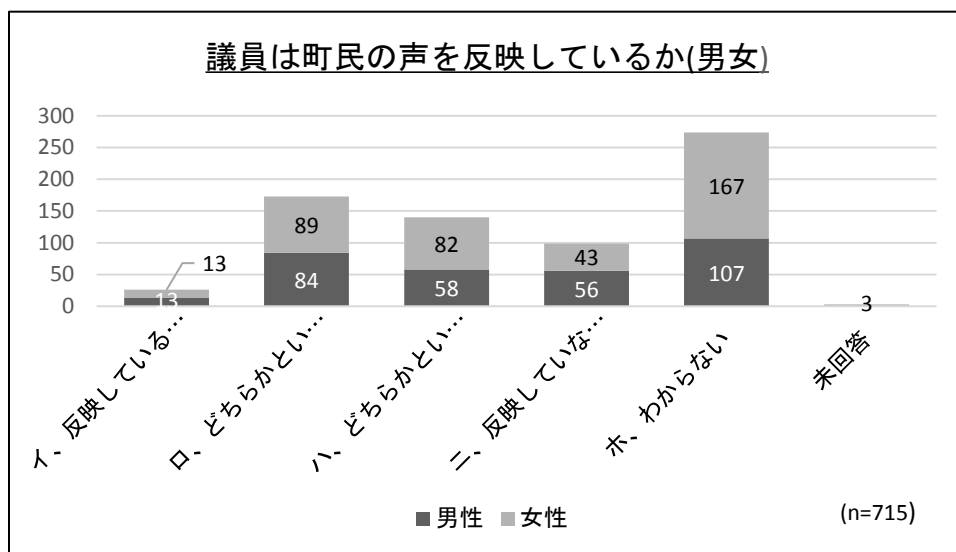
年齢	18～20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、よく見ている	1						1	3
ロ、時々見ている		1	5	4	6	11	15	22
ハ、1～2回見たことがある		2	1	1	7	8	3	15
ニ、見たことがない	2		5	7	14	20	22	14
ホ、ホームページ等の存在を知らない	6	2	11	16	12	17	10	13
未回答								
計	9	5	22	28	39	56	51	67

年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
イ、よく見ている	5	2	10	5	18	9	54(7.6)
ロ、時々見ている	6	15	25	41	34	39	224(31.3)
ハ、1～2回見たことがある	9	13	15	16	13	16	119(16.6)
ニ、見たことがない	9	13	20	25	14	28	193(27.0)
ホ、ホームページ等の存在を知らない	5	7	7	4	6	8	124(17.3)
未回答					1		1(0.1)
計	34	50	77	91	86	100	715(100.0)



議会活動を伝える広報メディア【議会だより】【議会ホームページ】【議会動画配信】との接触度合いを、ヘビー層(イ)、ライト層(ロ+ハ)、非接触層(ニ+ホ)に区分すると、日常的に何らかの接触したことがある層(イ、ロ、ハ)は55.5%と過半数を上回る。見たことのない層や、ホームページ等を知らない層(ニ、ホ)は44.3%にも上る。

質問6. あなたは、議員が町民の代表として、町政に町民の声を反映していると思いますか。



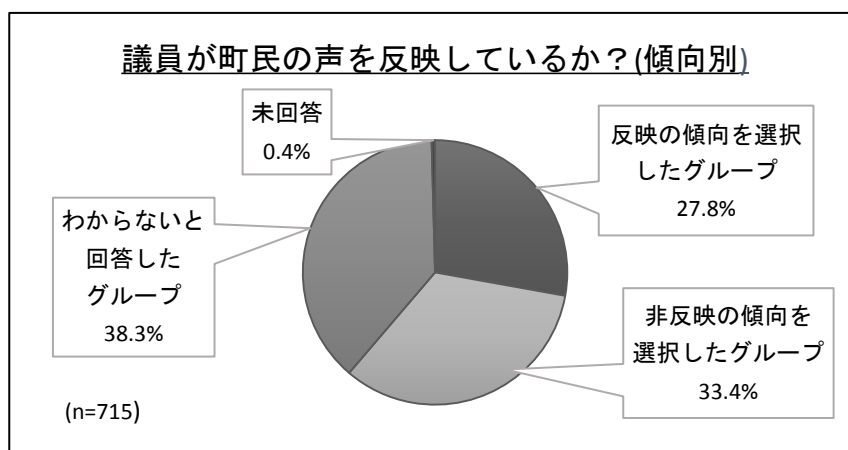
議員が町民の代表として、声を届ける役割を果たしていると評価する層(イ、ロ)は、男女とも、ほぼ近い人数である。一方、代表としての役割に、厳しい評価を下している年齢層は30歳代である。

●年齢別男女データ

n=715

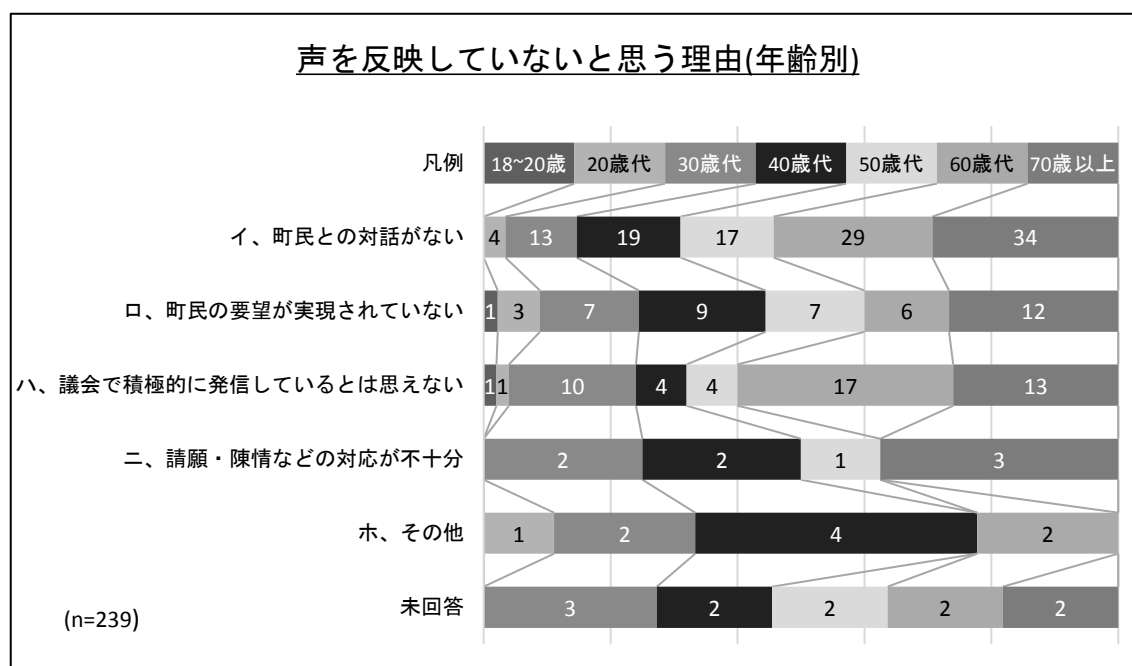
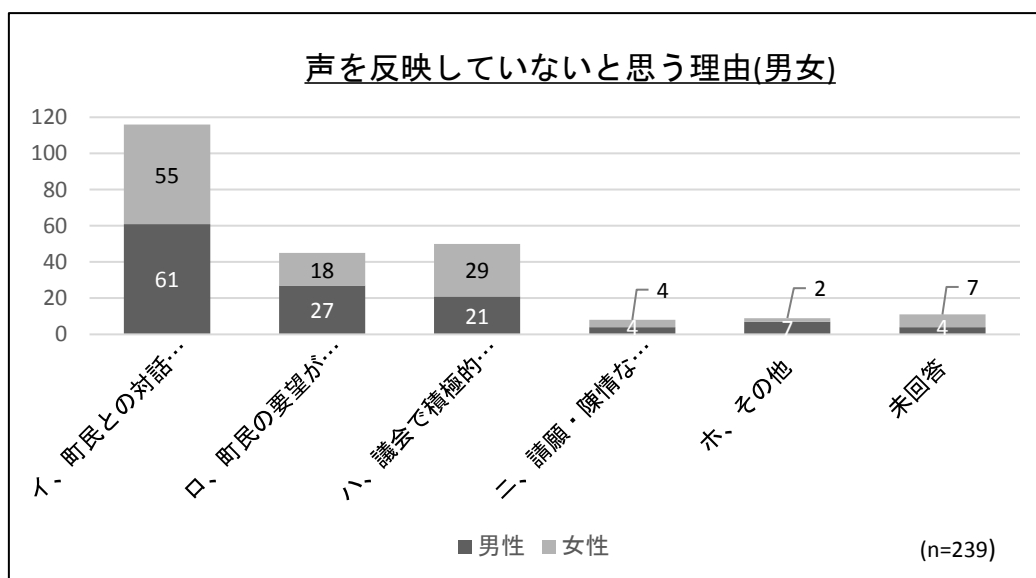
年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、反映していると思う	1			1	1		2	1
ロ、どちらかといえば反映していると思う	1	1	8	2	4	9	11	19
ハ、どちらかといえば反映していないと思う		1		1	6	13	10	13
ニ、反映していないと思う	1		2	6	11	9	9	8
ホ、わからない	6	3	12	18	17	25	19	26
未回答								
計	9	5	22	28	39	56	51	67

年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
イ、反映していると思う		1	2	2	7	8	26(3.6)
ロ、どちらかといえば反映していると思う	9	10	22	27	29	21	173(24.2)
ハ、どちらかといえば反映していないと思う	8	12	16	20	18	22	140(19.6)
ニ、反映していないと思う	6	5	12	10	15	5	99(13.8)
ホ、わからない	11	22	25	32	17	41	274(38.3)
未回答						3	3(0.4)
計	34	50	77	91	86	100	715(100.0)



「反映の傾向を選択したグループ」(イ、ロ)と、「非反映の傾向を選択したグループ」(ハ、ニ)、「わからないと回答したグループ」(ホ)という3つに大別し比較すると、反映していないと思っている北島町民が、肯定的に受け止めている層より、6%近く上回っていることがわかる。最も多かったのは「わからない」との回答で、男性の107名に比べ女性の人数が167名と大幅に上回っている。

質問7. 質問6で「どちらかといえば反映していないと思う」「反映していないと思う」を選択された方のみ、その理由を教えてください。(1つ選択)



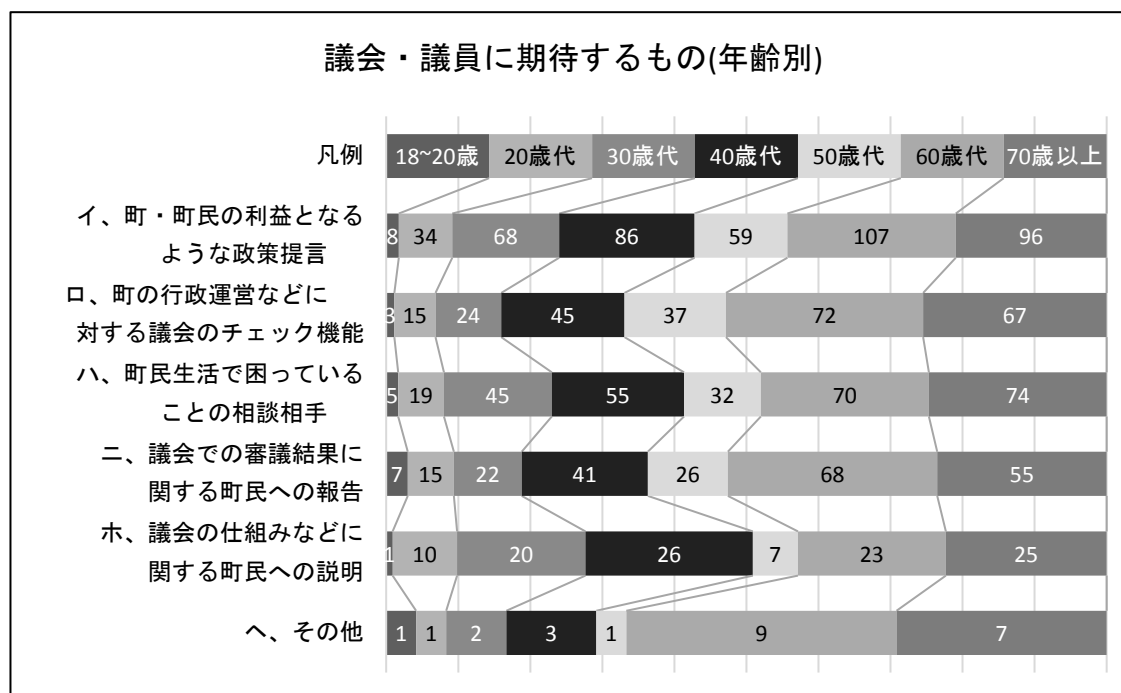
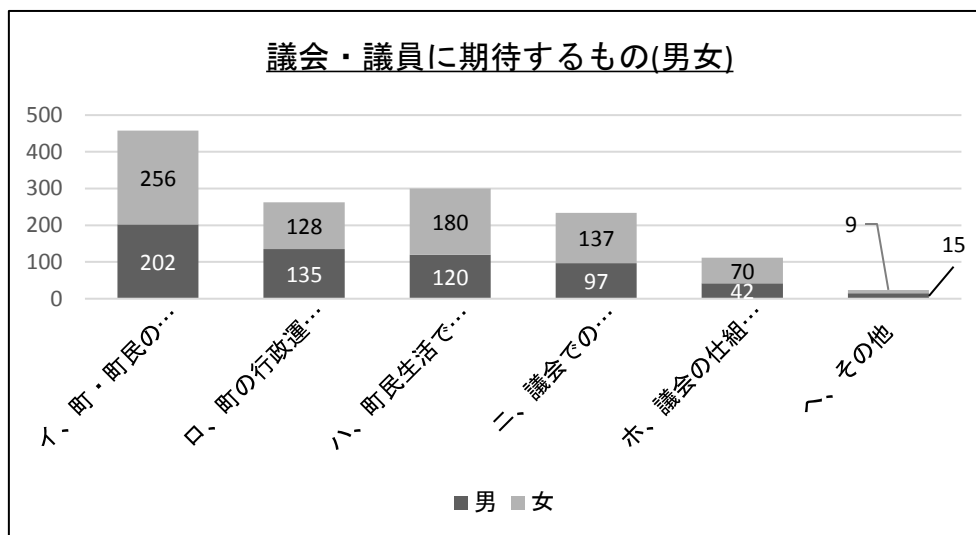
質問6でマイナス評価を下した239名の回答を見ると、圧倒的に「町民との対話がない」との意見が多い。このことから、対話の機会を増やし、積み重ねることによって、北島町民からの印象を好転できる可能性が高い。町政への不満も、対話によって改善されてゆくとと思われる。

●年齢別男女データ

n=239

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、町民との対話がない				4	6	7	10	9
ロ、町民の要望が実現されていない	1		1	2	3	4	2	7
ハ、議会で積極的に発信しているとは思えない		1	1		5	5	3	1
ニ、請願・陳情などの対応が不十分					1	1	1	1
ホ、その他				1		2	1	3
未回答					1	2	2	
計	1	1	2	7	16	21	19	21
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、町民との対話がない	8	9	12	17	19	15	116 (48.5)	
ロ、町民の要望が実現されていない	3	4	3	3	5	7	45 (18.8)	
ハ、議会で積極的に発信しているとは思えない	2	2	8	9	10	3	50 (21.5)	
ニ、請願・陳情などの対応が不十分		1			2	1	8 (3.4)	
ホ、その他			1	1			9 (3.9)	
未回答	1	1	2		1	1	11 (4.7)	
計	14	17	26	30	37	27	239 (100.0)	

質問8. 議会や議員のあるべき姿として、何を期待しますか。(複数回答)



回答した計702名の男女とも、「町・市民の利益となるような政策提言」が最も多く、次いで男性では、「町の行政運営などに対する議会のチェック機能」、女性では、「市民生活で困っていることの相談相手」への回答が多い。「自由記述意見」で、議会発言が乏しい議員への厳しい意見があったが、「政策提言」への期待の高さに起因することがうかがえる。

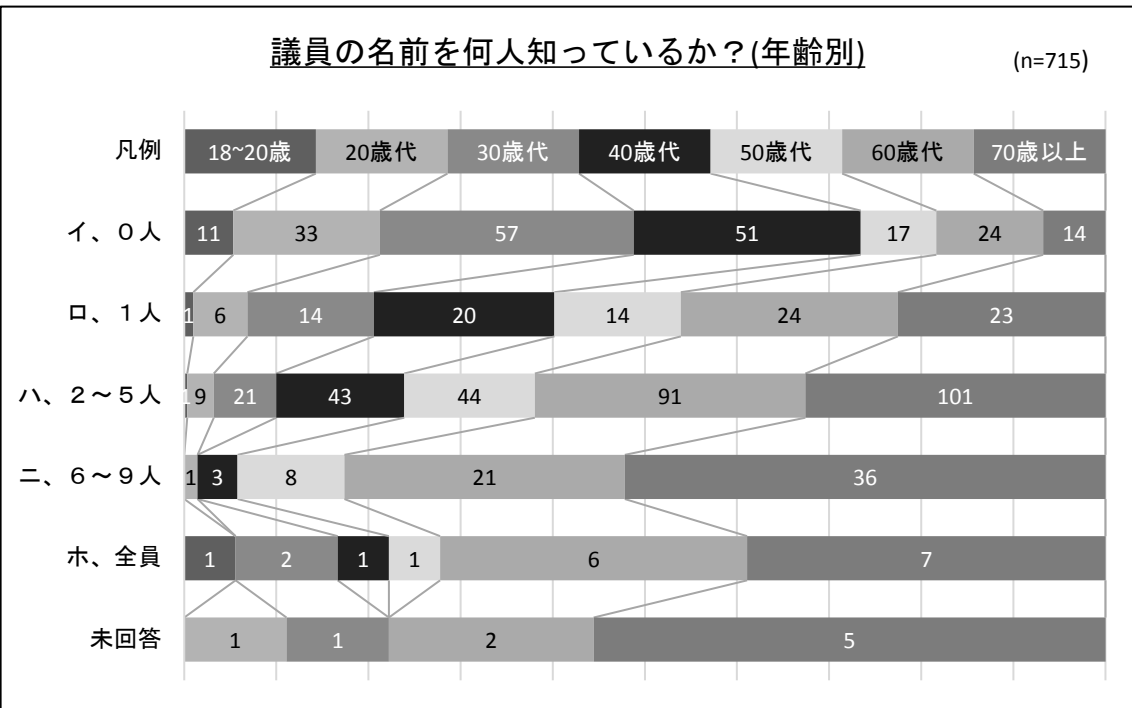
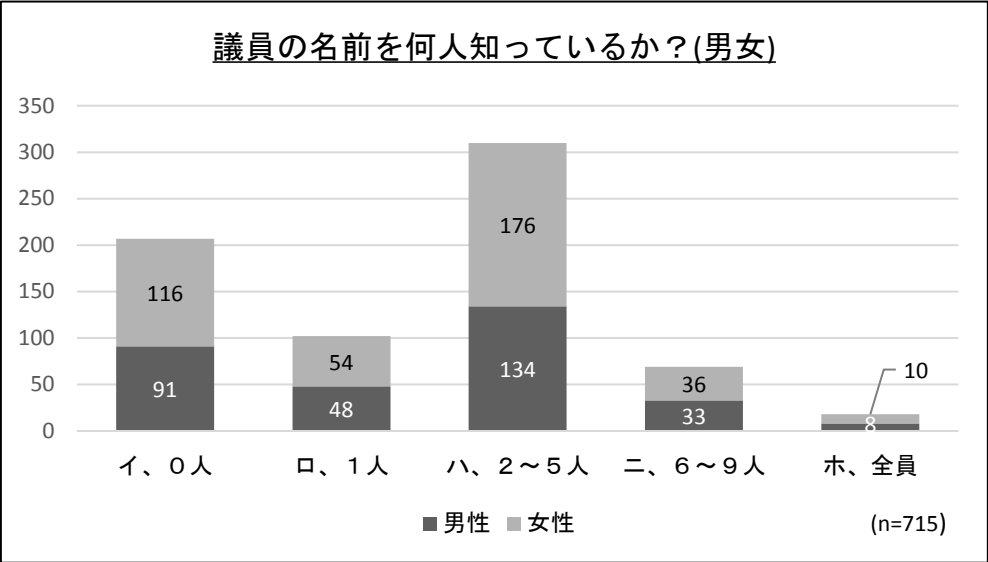
また、「議会での審議結果に関する市民への報告」という回答も一定数あり、質問7で「市民との対話がない」との回答数と呼応している。

●年齢別男女データ

n=702

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、町・市民の利益となるような政策提言	5	3	15	19	26	42	34	52
ロ、町の行政運営などに対する議会のチェック機能	1	2	6	9	11	13	20	25
ハ、市民生活で困っていることの相談相手	2	3	9	10	16	29	22	33
ニ、議会での審議結果に関する市民への報告	2	5	6	9	7	15	16	25
ホ、議会の仕組みなどに関する市民への説明		1	3	7	7	13	13	13
ヘ、その他	1			1	1	1	3	
未回答	1	1						
計	12	15	39	55	68	113	108	148
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、町・市民の利益となるような政策提言	25	34	49	58	48	48	458 (65. 2)	
ロ、町の行政運営などに対する議会のチェック機能	17	20	39	33	41	26	263 (37. 5)	
ハ、市民生活で困っていることの相談相手	10	22	33	37	28	46	300 (42. 7)	
ニ、議会での審議結果に関する市民への報告	8	18	33	35	25	30	234 (33. 3)	
ホ、議会の仕組みなどに関する市民への説明	2	5	8	15	9	16	112 (16. 0)	
ヘ、その他	1		4	5	5	2	24 (3. 4)	
未回答	1	2	1	1		6	13 (—)	
計	64	101	167	184	156	174		

質問 9. あなたは、議会議員の名前を何人ご存じですか。



町議の名前を一人も知らない町民が、回答者のうち 29.0%存在している。これは 40 歳代以下では、最も多い回答となっている。全体的には、「2～5人」との回答が多く、60 歳代以上では、最多回答となっている。

●年齢別男女データ

n=715

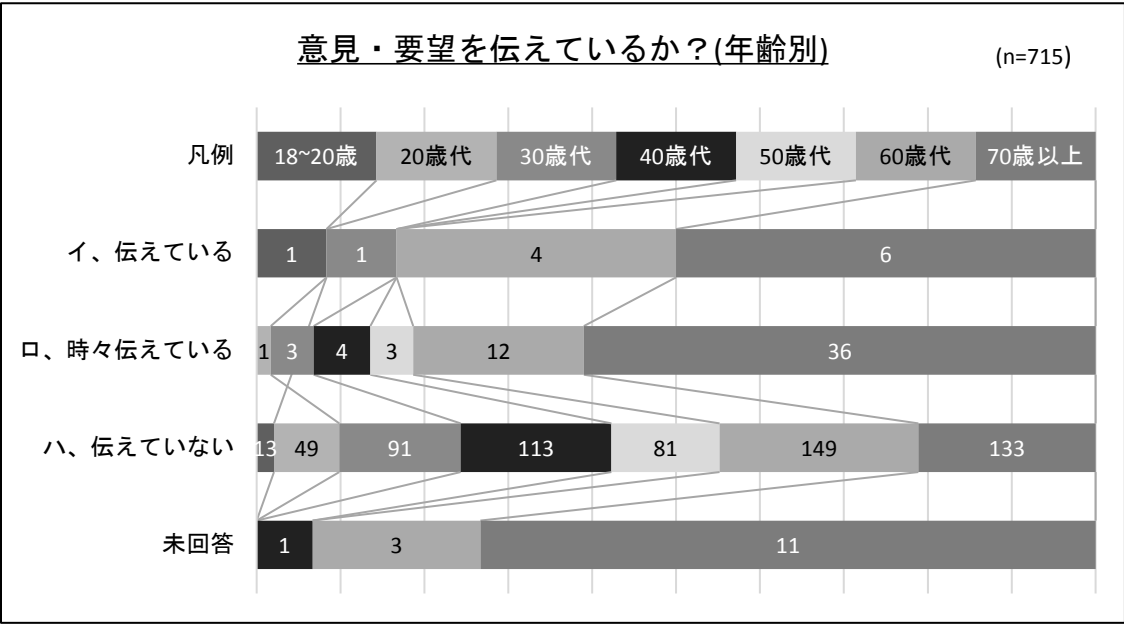
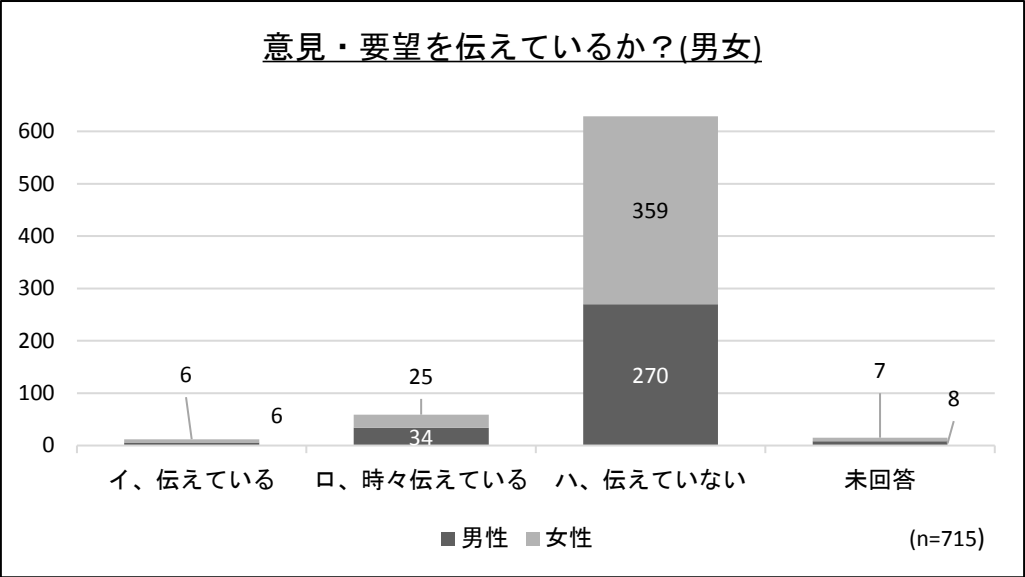
年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、0人	8	3	13	20	22	35	25	26
ロ、1人		1	2	4	6	8	9	11
ハ、2~5人		1	5	4	9	12	16	27
ニ、6~9人			1				1	2
ホ、全員	1				1	1		1
未回答			1		1			
計	9	5	22	28	39	56	51	67
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、0人	7	10	13	11	3	11	207(29.0)	
ロ、1人	8	6	13	11	10	13	102(14.3)	
ハ、2~5人	15	29	40	51	49	52	310(43.4)	
ニ、6~9人	3	5	9	12	19	17	69(9.7)	
ホ、全員	1		1	5	4	3	18(2.5)	
未回答			1	1	1	4	9(1.3)	
計	34	50	77	91	86	100	715(100.0)	

●知っている議員名と議会広報メディア(質問5)との関係 (※未回答を省く)

	イ、よく 見ている	ロ、時々 見ている	ハ、1~2回 見たこと がある	ニ、見たこと がない	ホ、ホーム ページ等の 存在を知ら ない
イ、0人	2	24	27	80	74
ロ、1人	2	24	24	32	20
ハ、2~5人	29	134	55	64	27
ニ、6~9人	12	33	9	12	3
ホ、全員	6	6	3	3	
総計	51	221	118	191	124

「議会だより」などの議会広報メディアと、議員名の把握との関係を見たのが上の表である。「よく見ている」「時々見ている」と回答した中にも、議員名ゼロ回答者が存在する。

質問 10. あなたは、議員に自分の意見・要望を伝えていますか。



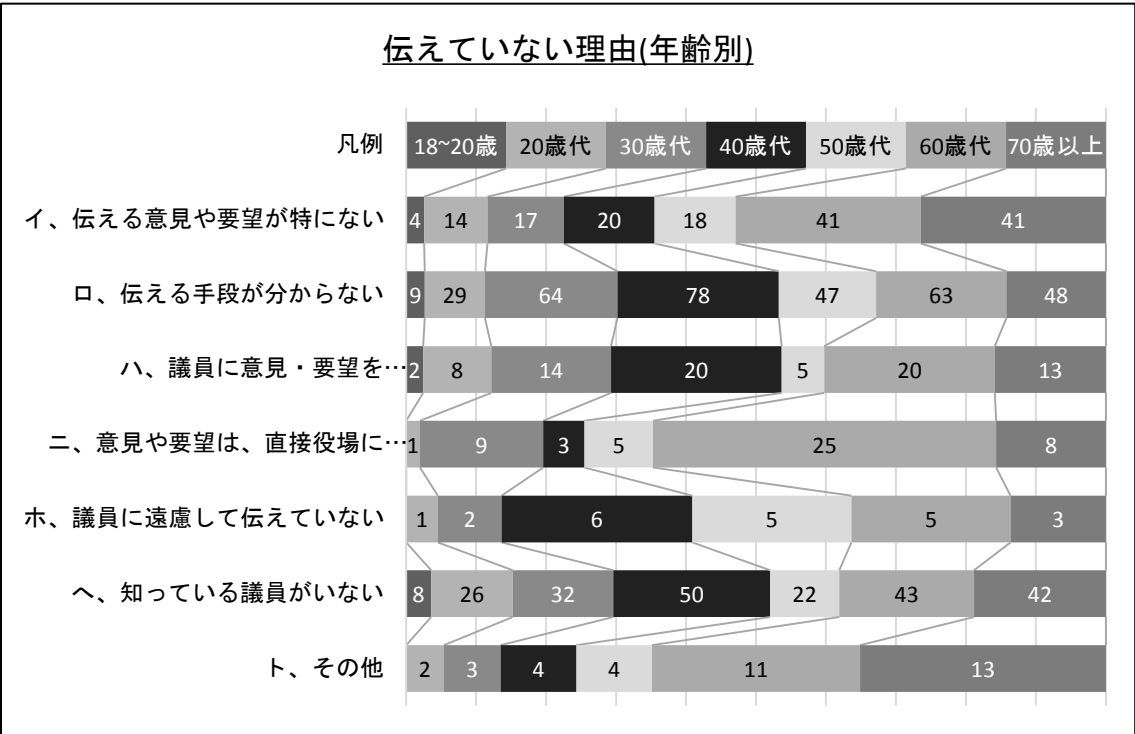
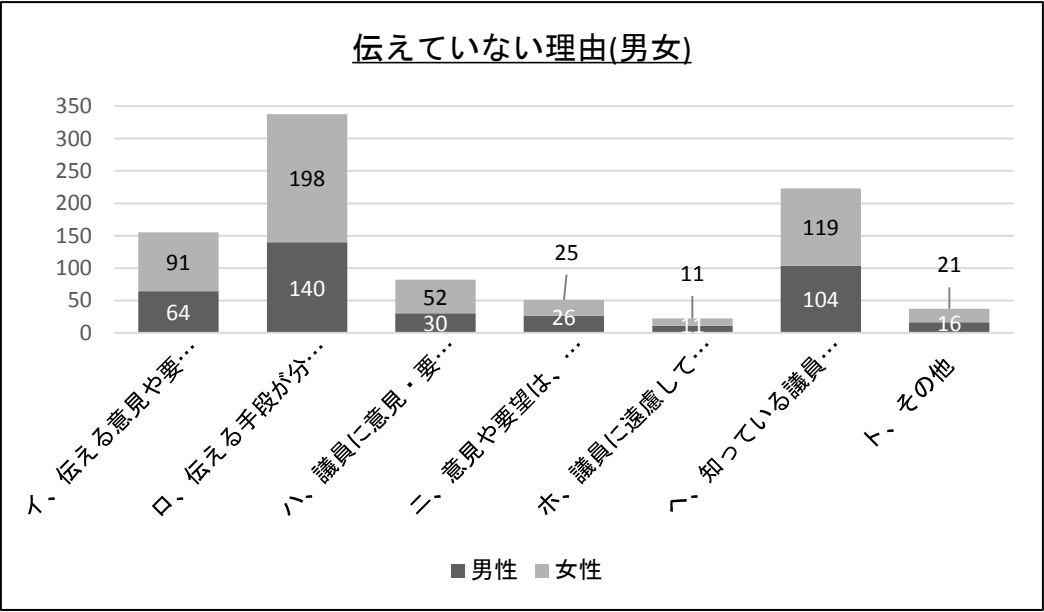
この質問に対しては、88.0%の回答者が「伝えていない」と回答している。「伝えている」「時々伝えている」と応えたのは、70歳以上の町民に多い。

●年齢別男女データ

n=715

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、伝えている	1				1			
ロ、時々伝えている			1		1	2	1	3
ハ、伝えていない	8	5	21	28	37	54	49	64
未回答							1	
計	9	5	22	28	39	56	51	67
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、伝えている			2	2	2	4	12(1.7)	
ロ、時々伝えている	2	1	4	8	25	11	59(8.3)	
ハ、伝えていない	32	49	68	81	55	78	629(88.0)	
未回答			3		4	7	15(2.1)	
計	34	50	77	91	86	100	715(100.0)	

質問 1 1. 質問 1 0 で「伝えていない」を選択した方のみ、その理由を教えてください。
(複数回答)



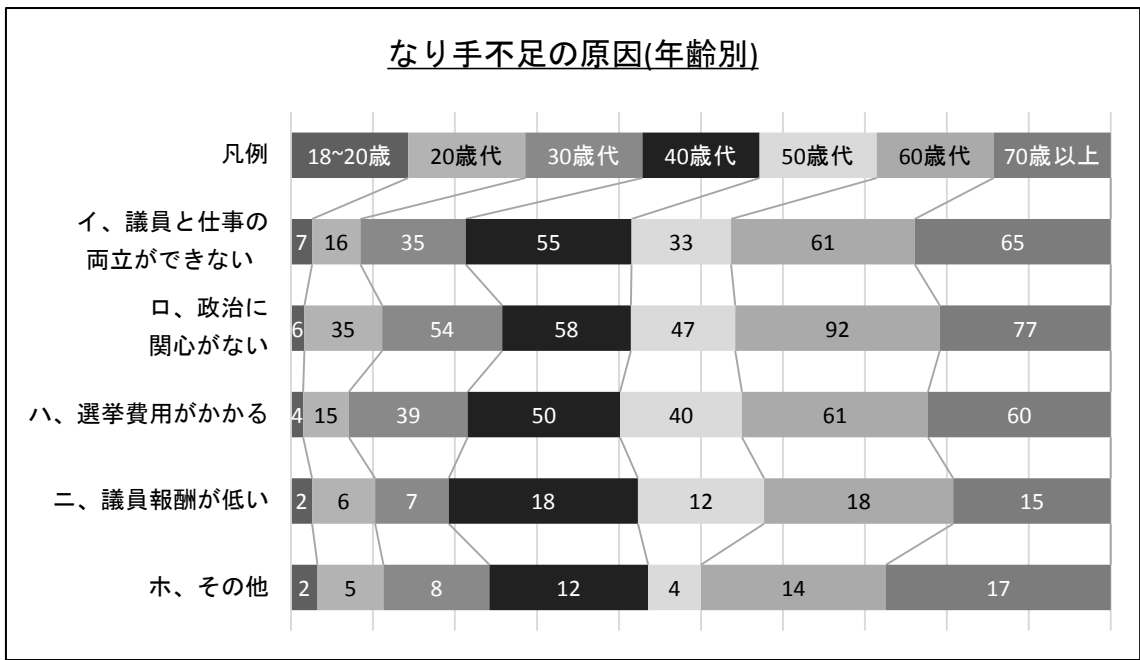
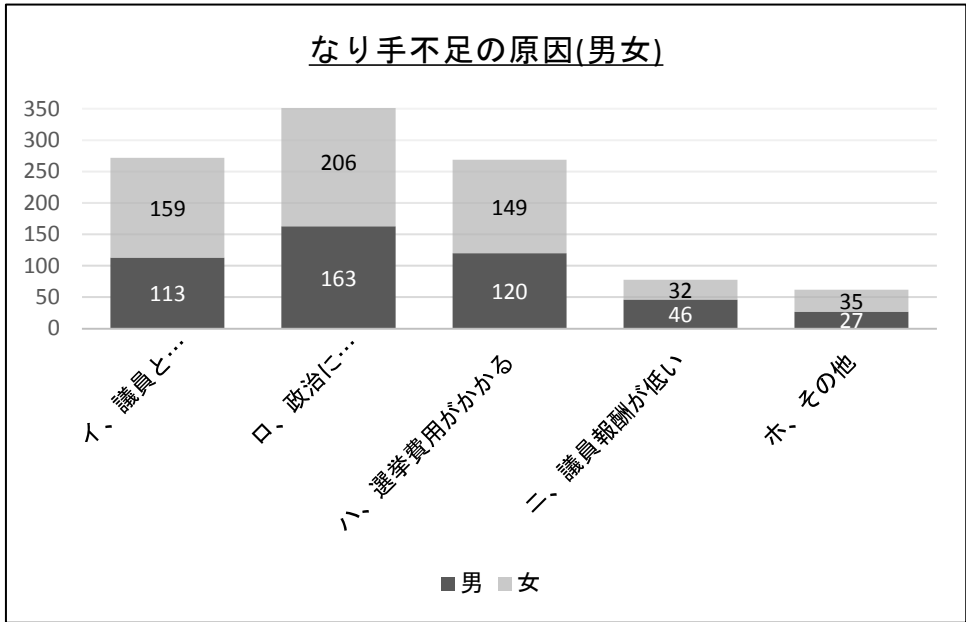
●年齢別男女データ

n=629

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、伝える意見や要望が特にない	2	2	5	9	8	9	7	13
ロ、伝える手段が分からない	5	4	12	17	22	42	32	46
ハ、議員に意見・要望をしても実現しない	2		4	4	4	10	6	14
ニ、意見や要望は、直接役場に伝えている				1	3	6	1	2
ホ、議員に遠慮して伝えていない				1	1	1	4	2
ヘ、知っている議員がいない	6	2	12	14	12	20	24	26
ト、その他			1	1	1	2	2	2
未回答							1	
計	15	8	34	47	51	90	76	105
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、伝える意見や要望が特にない	7	11	18	23	17	24	155 (24.6)	
ロ、伝える手段が分からない	19	28	32	31	18	30	338 (53.7)	
ハ、議員に意見・要望をしても実現しない	2	3	6	14	6	7	82 (13.0)	
ニ、意見や要望は、直接役場に伝えている	3	2	14	11	5	3	51 (8.1)	
ホ、議員に遠慮して伝えていない	2	3	4	1		3	22 (3.5)	
ヘ、知っている議員がいない	9	13	21	22	20	22	223 (35.5)	
ト、その他	2	2	4	7	6	7	37 (5.9)	
未回答			3		4	7	15 (—)	
計	44	62	99	109	72	96		

質問 10 で 629 名が「伝えていない」を選択した理由としては、「伝える手段が分からない」「知っている議員がいない」の 2 つがとりわけ多い。これを見ても、質問 7 での「町民との対話」の機会の重要性が洞察できる。また、請願・嘆願などのシステムがあまり機能していないこともうかがえる。

質問 1 2. 議員のなり手不足は、何が原因だと思いますか。(複数回答)



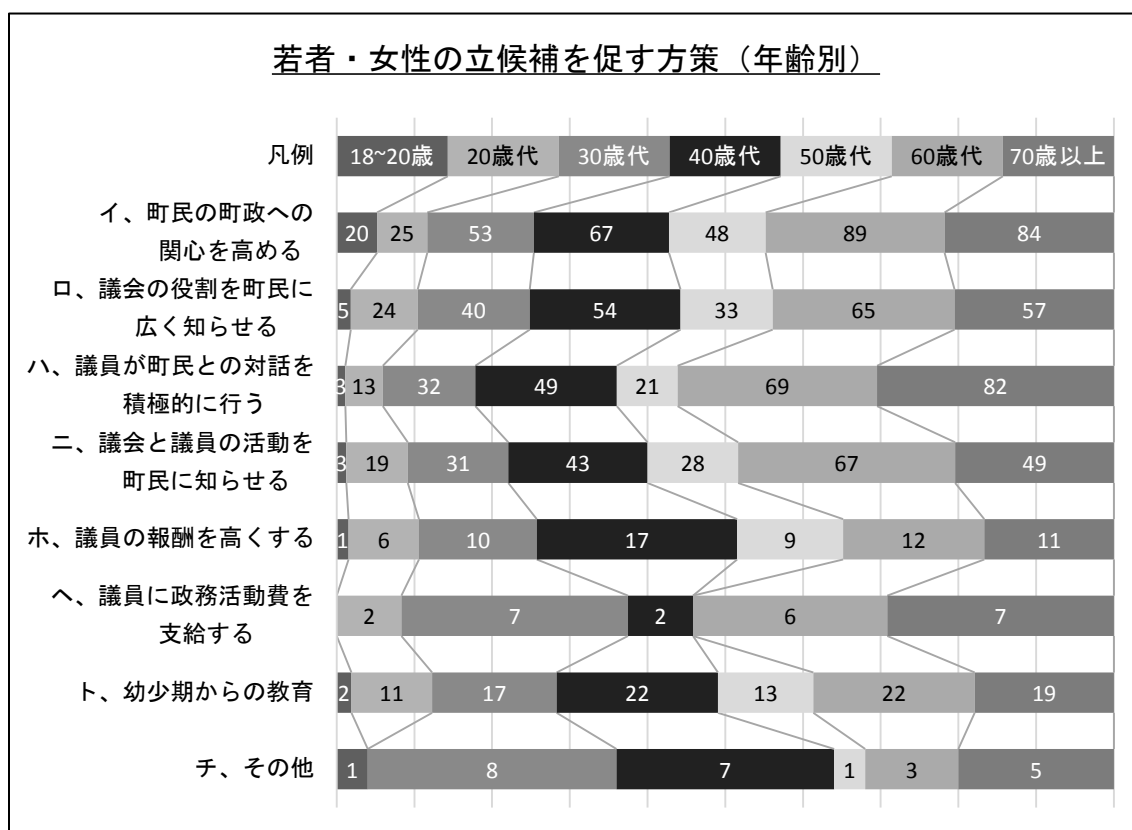
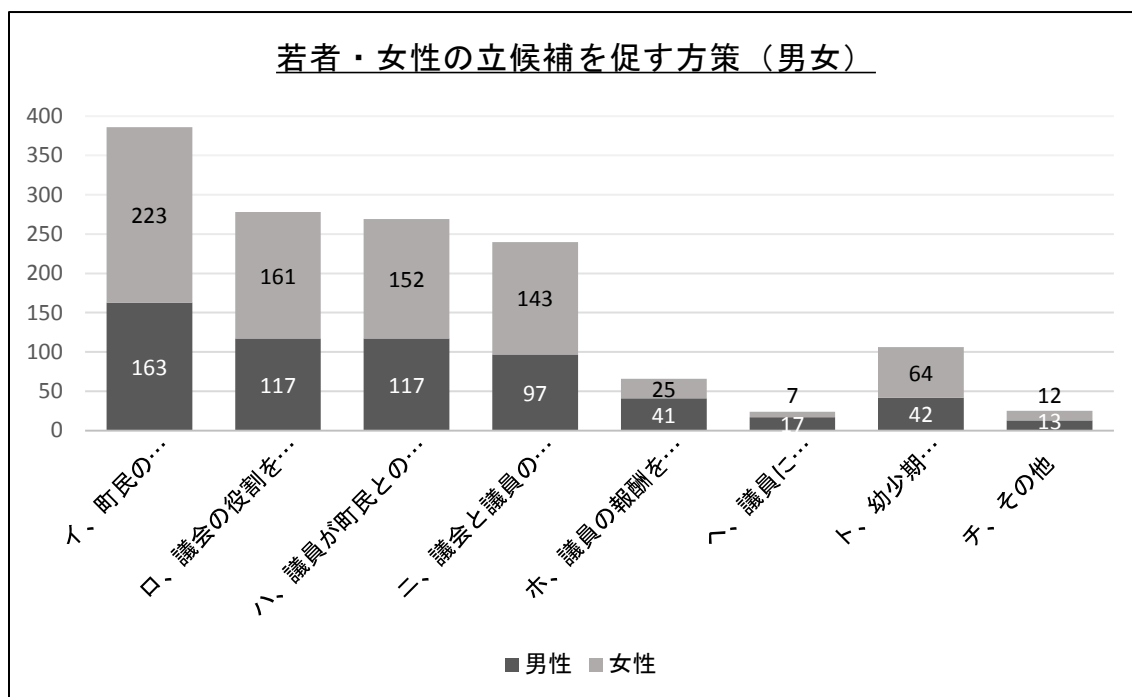
●年齢別男女データ

n=692

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、議員と仕事の両立ができない	4	3	4	12	12	23	25	30
ロ、政治に関心がない	4	2	17	18	23	31	25	33
ハ、選挙費用がかかる	1	3	7	8	17	22	24	26
ニ、議員報酬が低い	2		3	3	5	2	8	10
ホ、その他	2		1	4	3	5	4	8
未回答						1	2	2
計	13	8	32	45	60	83	86	107
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、議員と仕事の両立ができない	12	21	25	36	31	34	272(39.3)	
ロ、政治に関心がない	20	27	45	47	29	48	369(53.3)	
ハ、選挙費用がかかる	14	26	28	33	29	31	269(38.9)	
ニ、議員報酬が低い	7	5	9	9	12	3	78(11.3)	
ホ、その他	3	1	6	8	8	9	62(9.0)	
未回答		1	5	1	4	7	23(—)	
計	56	80	113	133	109	125		

未回答者を除く 692 名による回答では、男女とも「政治に関心がない」が 53.3%と最も多い。次いで、「議員と仕事の両立ができない」との声が多い。特に、両立に関しては、女性からの声が高い。「自由記述意見」の中には、この改善策として夜間や休日の議会開催の提案もあった。男性では、「選挙費用がかかる」への回答が 2 番目に多い。

質問 13. あなたは、若者・女性の方の立候補を促すのに、日頃から何が必要だと思いますか。（複数回答）（自由記述）



●年齢別男女データ

n=697

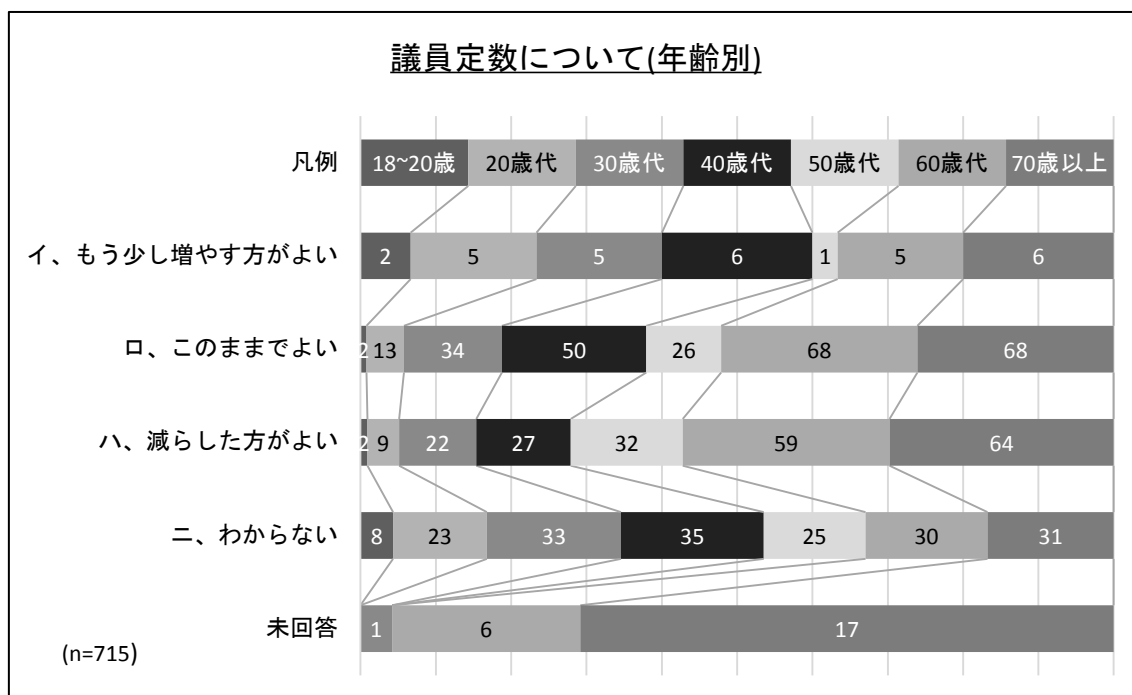
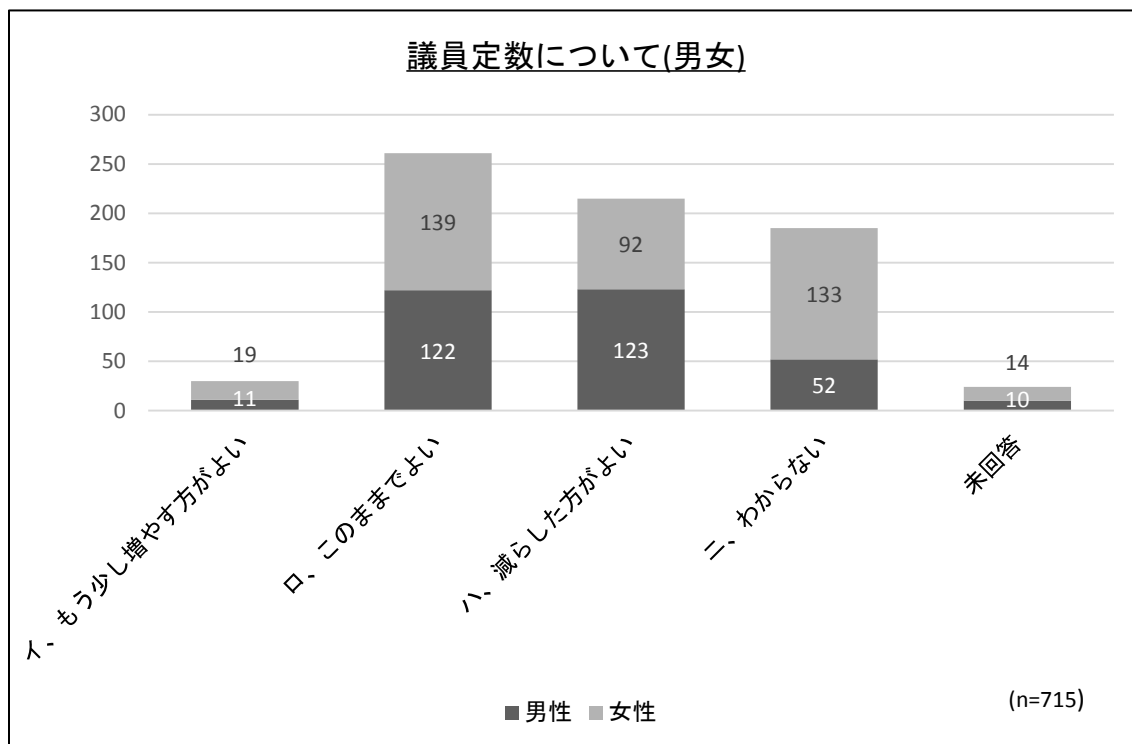
年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、町民の町政への関心を高める	16	4	13	12	18	35	22	45
ロ、議会の役割を町民に広く知らせる	3	2	9	15	14	26	23	31
ハ、議員が町民との対話を積極的に行う	1	2	6	7	10	22	21	28
ニ、議会と議員の活動を町民に知らせる	1	2	11	8	9	22	19	24
ホ、議員の報酬を高くする	1		3	3	3	7	10	7
ヘ、議員に政務活動費を支給する			2		2	5	2	
ト、幼少期からの教育	1	1	1	10	5	12	11	11
チ、その他	1				6	2	3	4
未回答	2			1				
計	24	11	45	55	67	131	111	150
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計(%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、町民の町政への関心を高める	18	30	42	47	34	50	386(52.8)	
ロ、議会の役割を町民に広く知らせる	12	21	31	34	25	32	278(39.9)	
ハ、議員が町民との対話を積極的に行う	10	11	31	38	38	44	269(38.6)	
ニ、議会と議員の活動を町民に知らせる	8	20	28	39	21	28	240(34.4)	
ホ、議員の報酬を高くする	6	3	8	4	10	1	66(9.5)	
ヘ、議員に政務活動費を支給する			5	1	6	1	24(3.4)	
ト、幼少期からの教育	6	7	7	15	11	8	106(15.2)	
チ、その他	1		1	2	1	4	25(3.6)	
未回答		2	3	2	3	5	18(—)	
計	61	92	153	180	146	168		

重複回答可の設問であるが、男女とも「町民の町政への関心を高める」が最も多い。2 番目に多いのは、「議会の役割を町民に広く知らせる」である。男性で、2 番手と同数の回答数だったのが「議員が町民との対話を積極的に行う」である。また、「幼少期からの教育」も 15%を上回る。

「自由記述意見」では、議員の仕事の中身や活動に対する素朴な疑問や、仕事と議員活動との両立ができる仕組みづくりを求める意見など、多様な声が寄せられた。議員の定年制や女性議員の人数枠などの提案も散見された。

※具体的な記述内容については、別報告『北島町民アンケート調査集計結果・自由記述意見』をご覧ください。

質問 1 4. 現在は定数 1 4 名ですが、あなたは議会による健全な審議や町政のチェック機能、政策提言等を今後も継続するため、議員定数は何人がよいと思われますか。



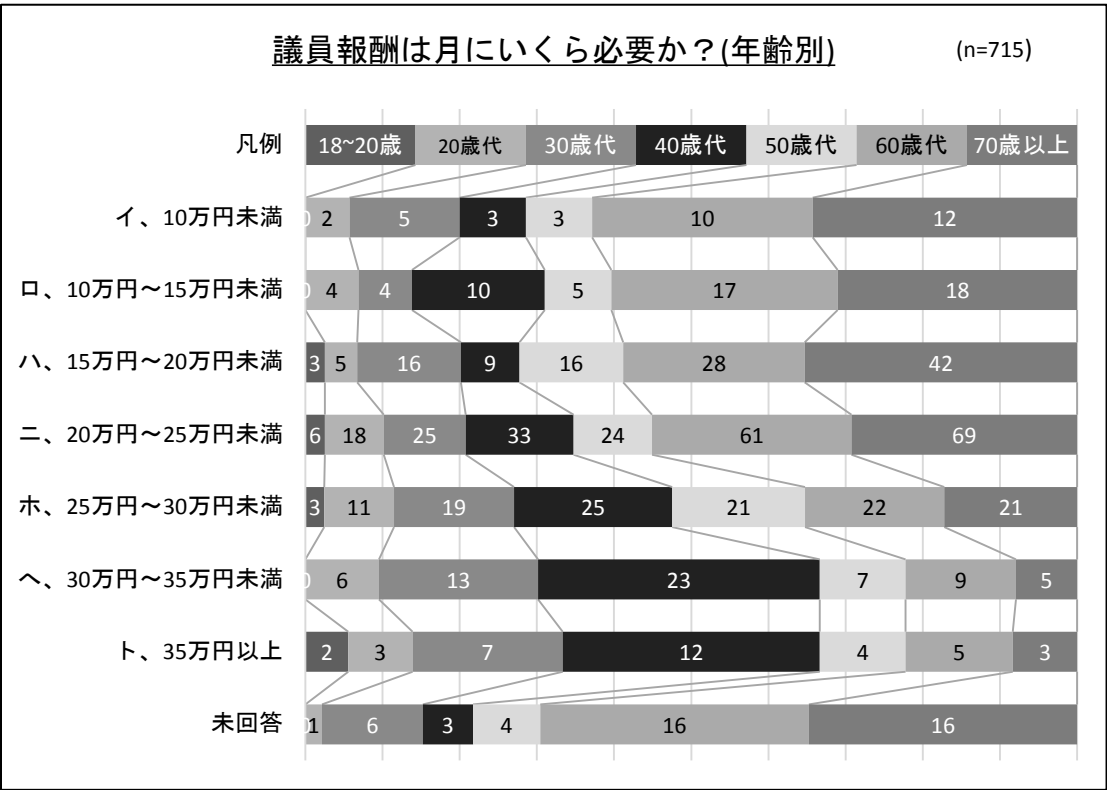
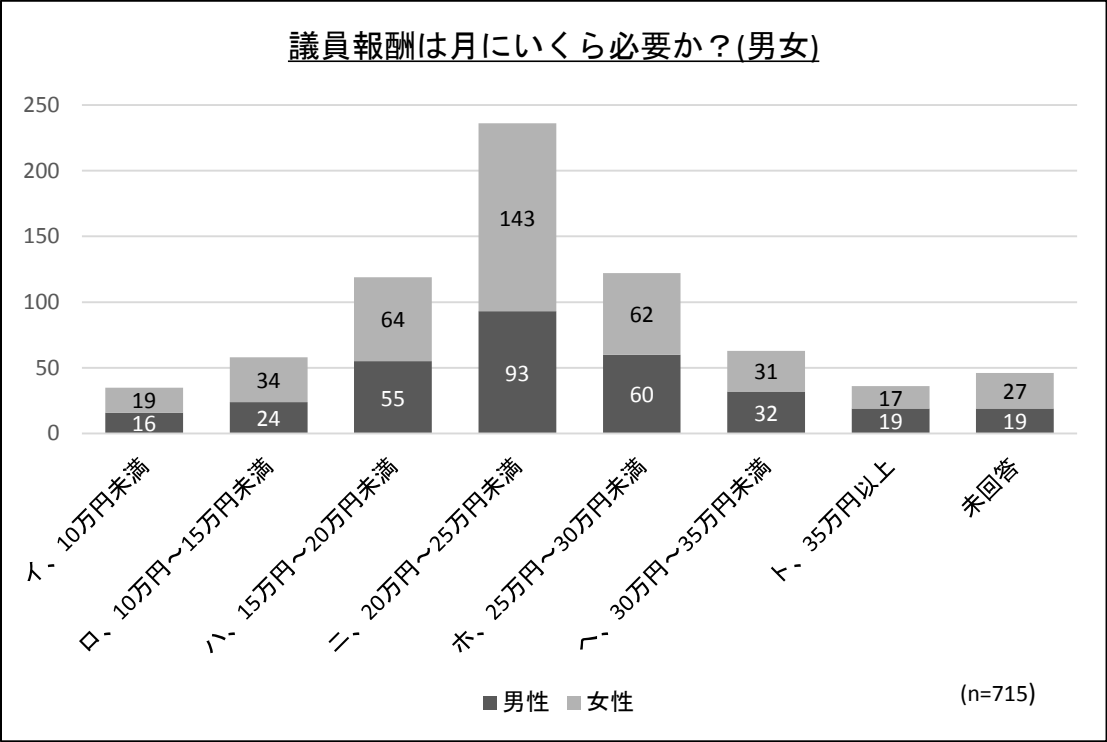
●年齢別男女データ

n=715

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、もう少し増やす方がよい	1	1	2	3		5	1	5
ロ、このままでよい	1	1	8	5	18	16	17	33
ハ、減らした方がよい		2	7	2	13	9	18	9
ニ、わからない	7	1	5	18	8	25	15	20
未回答						1		
計	9	5	22	28	39	56	51	67
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、もう少し増やす方がよい		1	4	1	3	3	30 (4. 2)	
ロ、このままでよい	14	12	33	35	31	37	261 (36. 5)	
ハ、減らした方がよい	15	17	29	30	41	23	215 (30. 1)	
ニ、わからない	5	20	7	23	5	26	185 (25. 9)	
未回答			4	2	6	11	24 (3. 4)	
計	34	50	77	91	86	100	715 (100. 0)	

議員定数に関する問いかけについては、「このままでよい」という意見が 36.5%と最も多い。一方、「減らした方がよい」という声も 30.1%ある。

質問 15. もし、あなたが議員になるとしたら、議員報酬はどれくらいが必要ですか。



●年齢別男女データ

n=715

年齢	18~20 歳		20 歳代		30 歳代		40 歳代	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
イ、10 万円未満			1	1	2	3	2	1
ロ、10 万円～15 万円未満			2	2	1	3	3	7
ハ、15 万円～20 万円未満	3		2	3	7	9	2	7
ニ、20 万円～25 万円未満	3	3	7	11	12	13	13	20
ホ、25 万円～30 万円未満	2	1	7	4	5	14	14	11
ヘ、30 万円～35 万円未満			3	3	7	6	8	15
ト、35 万円以上	1	1		3	3	4	7	5
未回答				1	2	4	2	1
計	9	5	22	28	39	56	51	67
年齢	50 歳代		60 歳代		70 歳以上		総計 (%)	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
イ、10 万円未満		3	4	6	7	5	35 (4. 9)	
ロ、10 万円～15 万円未満	3	2	8	9	7	11	58 (8. 1)	
ハ、15 万円～20 万円未満	6	10	15	13	20	22	119 (16. 6)	
ニ、20 万円～25 万円未満	7	17	22	39	29	40	236 (33. 0)	
ホ、25 万円～30 万円未満	11	10	9	13	12	9	122 (17. 1)	
ヘ、30 万円～35 万円未満	4	3	5	4	5		63 (8. 8)	
ト、35 万円以上	2	2	4	1	2	1	36 (5. 0)	
未回答	1	3	10	6	4	12	46 (6. 4)	
計	34	50	77	91	86	100	715 (100. 0)	

「あなたが議員になるとしたら…」との問いかけであるが、質問 16 の「自由記述意見」から判断すると、現状の議員報酬が適正か否かで回答された方が少なくない。

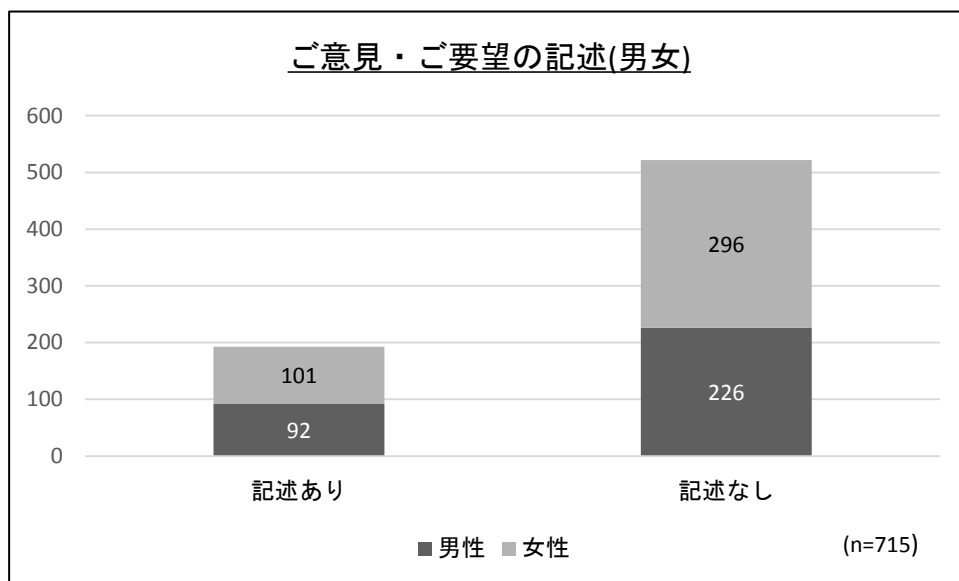
現状の 22 万 600 円を含む「20 万円～25 万円未満」が 33. 0%と最も高い一方で、月額報酬を「25 万円～30 万円未満」(17. 1%)に引き上げた方がよいという回答が、「15 万円～20 万円未満」(16. 6%)に引き下げるべきという意見を、わずかながら上回る。未回答の中には、質問 14 でも未回答としたケースが多い。

●議員になったときに必要な月報酬と、議員定数(質問14)との関係

	イ、このまま でよい	ロ、もう少し 増やす方がよい	ハ、わからない	ニ、減らした 方がよい	未回答	総計
イ、10万円 未満	6	3	6	20		35
ロ、10万円～ 15万円未満	14		15	28	1	58
ハ、15万円～ 20万円未満	40	2	21	55	1	119
ニ、20万円～ 25万円未満	105	8	64	53	6	236
ホ、25万円～ 30万円未満	53	9	33	27		122
ヘ、30万円～ 35万円未満	25	6	17	15		63
ト、35万円 以上	12	1	10	12	1	36
未回答	6	1	19	5	15	46
総計	261	30	185	215	24	715

上の表は、質問14とのクロス集計を試みたものである。議員数を「減らした方がよい」とした回答者の中には、現状より報酬を増やした方がよいとした町民が54人いた。質問16の「自由記述意見」では、「議員数を減らした分、議員報酬を高めるべき」との意見もあったが、全般では議員数も報酬も現状維持という回答が多く見られる。

質問 16. 議会に対して、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。



	男性	女性
18～20歳		3
20歳代	4	4
30歳代	11	14
40歳代	16	28
50歳代	6	10
60歳代	27	18
70歳以上	28	24
小計	92	101
合計	193	

「自由記述意見」への記入は、有効回答 715 名中、27.0%にあたる 193 名からあった。40 歳代では女性の声が男性よりも多く、60 歳代では逆に男性の声が多い。40 歳代女性からは、子育てに関する記述が散見される。

※具体的な記述内容については、別報告『北島町民アンケート調査集計結果・自由記述意見』をご覧ください。